

## 男女共同参画社会をつくる ～男女共同参画に関するQ&A～

「ジェンダー・ギャップ指数」という言葉を耳にしたことはありますか？

ジェンダー・ギャップ指数とは、各国の「経済」「教育」「健康」「政治」の4つの分野のデータから男女格差を数値化したものです。世界経済フォーラムが発表した2023年の日本のジェンダー・ギャップ指数の順位は、世界146か国中125位でした。

政治・経済に深刻な課題を抱えていることが大きな要因となっております。柏原市では、男女共同参画社会の実現に向け、今後も身近な情報を皆様にお伝えしていきます。

**Q 9 9** 我が国の未来を担う若い世代が、理想とする生き方、働き方を実現できる社会とはどのようなもののでしょうか。

**A 9 9**

昭和モデル

「男性は仕事」「女性は家庭」という、いわゆるサラリーマンの夫と専業主婦から成る家庭を前提とした制度。(固定的な性別役割分担)

令和モデル

職業観、家庭観が大きく変化する中、全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会への変革が実現した姿。

「令和モデル」の早期実現に向けて

- ①誰もが、希望が満たされ、能力を最大限に発揮して仕事ができる環境の整備。
- ②仕事と家事・育児等のワーク・ライフ・バランスが取れた生活を行うことができること。
- ③女性の経済的自立。

以上の3点が挙げられます。

## 「令和モデル」の実現に向けて

・我が国の未来を担う若い世代が、理想とする生き方、働き方を実現できる社会を作ることこそが、今後の男女共同参画社会の形成の促進において、重要。

・職業観・家庭観が大きく変化中、今こそ、「昭和モデル」から「令和モデル」へ切り替えるとき。

### 「昭和モデル」

- ・いわゆるサラリーマンの夫と専業主婦から成る世帯を前提とした制度
- ・固定的な性別役割分担を前提とした長時間労働や転勤を当然とする雇用慣行



### 新しい生活様式・働き方

- ・若い世代を中心に、生活様式、働き方についての考え方が変化、多様化
- ・家族の姿の変化、人生の多様化
- ・単独世帯、ひとり親世帯、共働き世帯の増加

変革

## 「令和モデル」

職業観・家庭観が大きく変化中、  
全ての人々が  
希望に応じて、  
家庭でも仕事でも  
活躍できる社会の実現へ

1  
希望が満たされ、  
能力を最大限に  
発揮して  
仕事ができる  
環境の整備

- 柔軟な働き方の浸透、勤務時間にかかわらず仕事の成果を評価され、昇進を目指すことができる環境の整備
- 指導的役割に占める女性を増やすための取組の加速
- 再就職の際、またはキャリアアップを目指す際に能力やスキルを向上できるよう、リスキリング等の機会の提供

2  
仕事と家事・育児等の  
バランスが取れた生活

- 長時間労働の是正
- 男性の育児休業取得の促進  
職場での業務の見直し、効率的な業務配分

3  
女性の  
経済的自立

- 男女間賃金格差の是正
- 成長分野への円滑な労働移行  
能力向上支援、デジタル人材の育成等
- 女性の就労の壁となっている制度・慣行の見直し
- 養育費を支払うのは当然であるという意識の定着

このように若い世代の意識の変化を認識し、時代に合わなくなっている慣行等を変えていくことが、今後の男女共同参画社会の形成の促進において、単独世帯、ひとり親世帯、共働き世帯の増加等、家族の姿が変化し、人生が多様化する中、全ての人々が活躍できる社会の実現にもつながります。

資料出所 共同参画 2023年7月号